

アートとまちをつなぐ伊丹の

アイテム

特集

輝け！

伊丹の演劇男子、
ステージガールズ



大好評の連載陣

【芸は身を助く】地中のロマンに酔いしれて

【まちなか美術手帖】

世界最大、抽象絵画の衝撃

【舞台の裏側】緻密さと余白のバランス

【クラフト作家の仕事場を訪ねて】

刺激し合う共同アトリエ

【伊丹遺産】伊丹の特産花桃

2010
冬
Vol.10

(財)伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

第8回 伊丹の特産花桃

千年後の伊丹人に残したい

伊丹遺産 THE ITAMI HERITAGE

春を告げる
ブランド花木、南京桃



一本の木に赤・白・ピンクと3色の花をつける“南京桃”は、東野、大野、西野地区の卓越した接ぎ木技術が生み出した伊丹だけの特産花木だ。3年がかりで育てられた逸品たちは春先、全国へと発送される。桃の節句の贈り物として人気で、毎年購入する固定ファンも多い。

古くから苗木作りが盛んだった東野一帯。南京桃は約150年前、中国原産八重咲きの花桃が伊丹に持ち込まれ、さまざまな園芸技術の結晶として誕生した。2年目に3色の桃の芽を接ぐ“芽接ぎ”を行い、翌年、枝先を木の根元にワラで引っ張り、枝垂れ桃を形づくる。

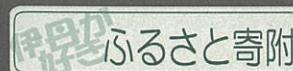
今は16軒の農家が毎年約6万本を栽培。そのうち、3色の花がバランスよく咲き、立ち木の美しい選りすぐり（昨年は約2500本）を南京桃ブランド化実行委員会がブランド品と認定している。技術を伝え、後継者を育成するため、「南京桃クラブ」なる組織も結成されている。

●購入メモ：毎年2月中旬頃から伊丹市公設卸売市場「食・農プラザ」内「スマイル阪神」ほかで販売。

●問合せ：伊丹市南京桃ブランド化実行委員会（JA兵庫六甲 伊丹営農支援センター）☎072-772-3302／伊丹市農政課 ☎072-784-8050



【取材と文：内山真理子】伊丹アイフォニックホール所属 世界の音楽を紹介する「地球音楽シリーズ」コンサートを担当。ローカルヘグローバルな“伝統芸能”と日々奮闘中。「あまり信じてもらえないですが中学時代はサッカー部でした。その仲間達は今もとも大切な友人です」



ご寄附を通じて、ふるさと伊丹を応援してください

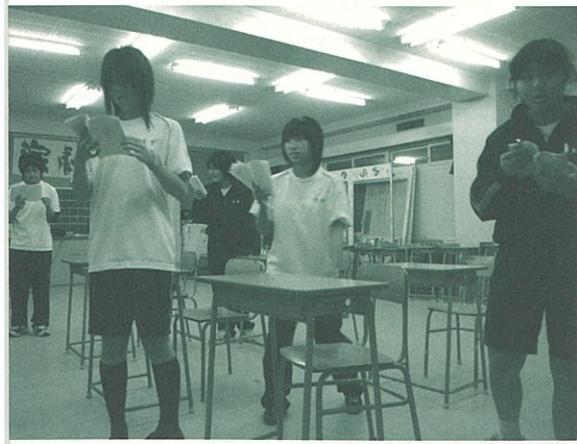
伊丹市では「夢と魅力のあるまち伊丹」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。

寄附金の活用は「芸術・文化」「スポーツ」など10テーマからご指定いただけます。

【お問い合わせ】伊丹市総合政策部政策室 TEL.072-784-8007 <http://www.city.itami.lg.jp/furusatoitami.html>

連覇目指す古豪

市立伊丹高校



昨年の演目『FUN HOUSE』では「中2が一番喜ぶネタ」として思春期の妄想を存分に演じきり場内を盛り上げ、大賞を掴み取った。部員数17人は校内屈指。「創部50年の歴史もっとも勢いがあるかもしれない」と顧問の渡辺美左子先生は語る。通し稽古ではアドリブでかけあいが始まり、みんなが笑えば台本に反映する。テンポを変えたセリフが入れば一転してシリアスな雰囲気に。めくるめく芝居のアンサンブルも「みんなの個性を役に反映させていくから」だと。『アイフェス!!』はハメを外しても許される」と鼻息あらく植村美咲部長は意気込む。

この戦いは一人じゃない

市立南中学校



二人の先輩が引退後、部員は島田佳那江さん(写真)だけとなつた。しかし「二人は楽しくないから」と入試が終わるまで待ち、一緒に出ると決めた。稽古や演出プランを練る期間は僅か1週間。「少人数だからこそ短期間でまとまる」とチームワークと集中力には自信がある。すでに脚本は島田さんが昨年中に書き上げ準備万端。出場できるかは、ギリギリまでわからないが、最後となる3人の共同作業を思う存分ぶつけてほしい。

歴代担当者が思い出す
あの名勝負、名シーン

【プロが唸った名ゼリフ】1997年ごろ、県立伊丹西高校

「写真是語りすぎるから」。審査員全員が「これは書けない」と大絶賛する。脚本を手がけた生徒は後にプロへ。

【審査、白熱】2000年ごろ、市立伊丹高校と県立伊丹高校

「演技の勢い」市高か、「脚本、構成が手堅い」県高か。評価が真っ二つにわかれ、審査員は一步も譲らず。「審査も戦場や…」と新人担当者は腰をぬかす。

【黒船来航】2003年ごろ、県立伊丹西高校

赴任したばかりの五ノ井幹也先生が率いる男子ばかりの演劇部が「劇中劇中劇」なる複雑な作品を創作し、いきなり大賞を。伊丹の高校演劇、戦国時代の幕開けである。

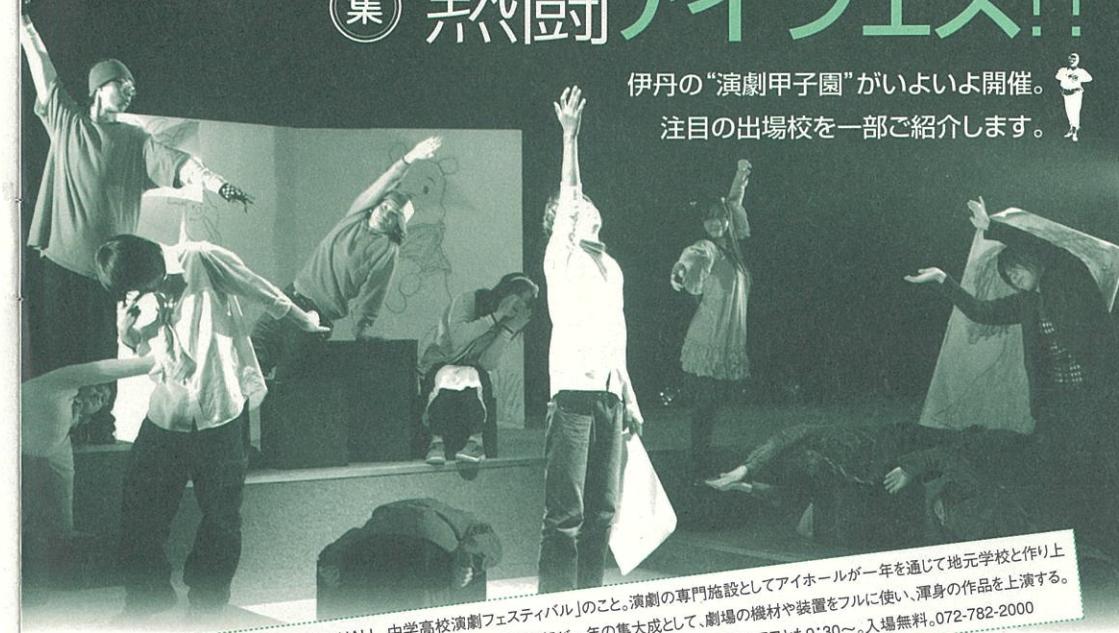
特

集

輝け! 伊丹の演劇男子、ステージガールズ 熱闘アイフェス!!

伊丹の「演劇甲子園」がいよいよ開催。

注目の出場校を一部ご紹介します。



「AI-HALL 中学高校演劇フェスティバル」のこと。演劇の専門施設としてアイホールが一年を通じて地元学校と作り上げている大会。市内の中学高校演劇部が一年の集大成として、劇場の機材や装置をフルに使い、渾身の作品を上演する。演劇部7校に加え、阪神地区大会優秀校も参加。3/28(日)、29(月)。両日とも9:30~。入場無料。072-782-2000

◎特集取材:中脇健児・権田康行(編集部)
松居令子(市民サポート)

学校とホールの
関係がつらやましく
希望しました

リミッター解除OK 県立伊丹西高校



昨年度、伊丹初となる悲願の近畿大会出場を決めた伊丹西高校。「道具、通ります」と手ぎわよく部室を片付け、軽快な音楽で踊りながらの发声練習が始まる。24人のエネルギーと響き渡る声に圧倒された。率いるのは、尼崎北高校時に全国ベスト4進出の実力を持つ五ノ井幹也先生。豪腕かと思いつや始終あたたかく見守る。部員たちについていく“印象が強い。”僕はリミッターを解除する役割。頑張りを認め合う雰囲気があれば、あとは生徒でどんどん混ざり合う」と場づくりに注意を払う心情を明かす。

五ノ井幹也さん
高校演劇の名物先生、

学校とホールの
関係がつらやましく
希望しました



影で支える二つの劇場

「夏のピッコロフェス、春のアイフェス」。県大
会進出の常連となつた《演劇王国・伊丹》を
支える地元劇場の努力と歴史、ここにあり。

劇場の住人たれ。 プロ仕様のアイホール。

教育支援に力を入れたキッカケは阪神大震災。「発表の場がない」と相談にきた中学校の先生との会話から「中学校の演劇には公式の大会がなく、恵まれない活動状況が初めてわかった」とアイホールの事業担当で現館長は当時を振り返る。すでに関西小劇場界で名が知られたいたノハウを活かし、「アイフェス!!」ではプロと同じ段取りで打合せ・仕込み・場当たり・リハーサル・ゲネプロと体験してもらう。「演劇をやる。演劇を見る。それ以外に



高校の授業へプロの俳優を講師として派遣し、演技指導。「アイフェス!!」大賞のごほうびとして、劇作家を派遣してワークショップを。



アイホール
(伊丹市立演劇ホール)

伊丹2-4-1

劇場と付き合う魅力を知つてもらいたかった」と語るよう一年を通じて共に創る関係を目指す。ほかに出張指導や総合学習授業の協力など果敢に学校現場に飛び込み、演劇の魅力を伝える。



「アイフェス!!」に向けて照明・音響の技術ワークショップ。



岸田國士戯曲賞作家が教えてくれる少人数制、戯曲(脚本)講座 「伊丹想流私塾」

通年。毎年4月に募集。定員約10名。
78,000円。卒業生にプロ多数。

朝に体を動かして気持ちの良い休日を 「土曜日のワークショップ」

1/16~3/13の土曜日。落語・マイム・エクササイズを。詳細は要問合せ。10:00~12:00、1日・全日でも。(小学校4年生以上)
一般500円、高校生以下300円。



寺田みさこによる中高生のためのダンス・ワークショップ

1/9(土)13:30。中高生のみ、定員15名。500円。

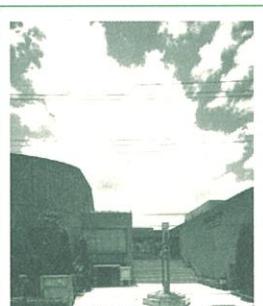
体を動かす。声を出す。大道具をつくる。
ちびっこだって、参加したい

「夏休み演劇ワークショップ」

7月~8月開催予定。
戯曲、ダンスなどプログラム各種。詳細未定。無料。



問合せ:アイホール 072-782-2000



ピッコロシアター
(兵庫県立尼崎青少年創造劇場)

尼崎市南塚口町3-17-8

演劇による青少年の健全育成を掲げ、日本初の付属「県立ピッコロ劇団」を設立。また、「ピッコロ演劇学校」「ピッコロ舞台技術学校」により人材育成に努める。地域や学校に出張多数。第1回JAFRAアワード(総務大臣賞)受賞。



ピッコロ劇団員が演技指導へ学校に出張。

異性との距離感といったストレートな表現はプロにはない魅力がある」と舞台技術専門員の安積雅彦さんは魅せられた理由を語る。

おとなり尼崎にある演劇専門の県立ピッコロシアターでは1978年開館当初より「ピッコロフェスティバル」にて高校演劇の発表を行う。過去出演した高校生の台本が閲覧できる資料室には学生が入り浸り、「ピッコロ演劇学校」には先生が通い指導に活かす。長年の蓄積とネットワークに加え、20年以上見守るスタッフが今もホットな関係を作る。「作品テーマはいつの時代も等身大の自分。友情・将来の不安・



夏休みに「裏方技能検定」を阪神間の先生が協力して開催する。



演劇関係の専門書、戯曲集が豊富に揃う資料室。

演劇一筋30年。 歴史のピッコロ。

財団四季の

【云は身を助く】

vol.10



【発掘調査】

埋蔵文化財を破壊する堀削工事の前には記録保存のため行われる。なお、費用は開発事業者が負担のため、一般は参加不可。



地中のロマンに酔いしれて

工 ジプトのミイラ型ペンケースを愛用する私。発掘と聞いて丹波竜やファラオの想像まみれで、花摘み園（「剣菱」の酒蔵跡）へ向かいました。

社会教育課の中畔さんに作業“衣装”と、土を掘るガリ、集める手箕（てみ）という基本セットを貸して貰い、気分はまるで吉村作治先生です。

現場は土の性質や汚れ具合で時代を見分け、白線で掘る箇所を区別してあるのですが、私にはさっぱり。「土の色の変化に沿って掘ったら良いよ」と優しい作業員さん。はりきって始めたものの、うっかり削りすぎたら遺跡の破壊!? と思うと、もうコリコリとしか削れません（笑）。ベテランさんは土の流れを

イメージできる様になるので、掘り方が大胆に見えても、ピタリと土の変化を探り当てます。その姿は丸太から木目を読み、掘り上げる仏師を連想させました。

匠の技は掘るだけに留まりません。出土したお茶碗の欠片を見た中畔さんは、瞬時に18世紀末の肥前焼と判別。私が発掘した牡蠣殻は酒造りに必要なもので、この地が酒蔵であった証拠になると教えてもらいました。当時のゴミだった欠片が時代を特定させる偉大な手がかりとなる！ 歴史の謎を紐解く、技と想像力と多岐に亘る知識。五感フル活用のお仕事にトキメキ、すぐ足下に広がるロマンに夢見心地な、にわか調査員加藤でした。



民家の目と鼻の先で遺跡の調査は日々行なわれているのです。



お茶碗の欠片はその土地の流通事情まで分かること文化史の語り部だ。



中畔さんの足元には“堀”が！ 作業員さんの一堀きでみると土の様子が変化して面白い。

【伊丹ロマン事業】郷土の歴史・文化に触れ合う機会を通じて、郷土への愛着の心を育むため実施。文化財保護協調月間（11月）を中心にイベント多数。詳しくは教育委員会事務局生涯学習部社会教育課（072-784-8090）

2000年11月11日 市制施行60周年記念事業の一つとして現代美術家・嶋本昭三によるアートパフォーマンス「天と地が合体した絵画」が伊丹小学校校庭で行われた。瓶詰めにした絵具を画面上で破裂させる作風をトレードマークに国際的な活躍をする嶋本のパフォーマンスとあつて、衝撃的なものだった。

25平方メートルの白布に白いペンツが一台置かれ、クレーンで上空20メートルに吊り上げられた嶋本が数種類の色インクを投げ落とす。紙一枚見康夫と数名の観客を含めた総勢20名もクレーンに吊られて参加し、インクの破裂音がつたび観客は歓声をあげた。伊丹市在住の美術家、鶴見康夫もクレーンに吊られて参加した。

当初予定されていた熱気球が強風のためクレーンに変更となり、さくらの爆発による世界最大の抽象絵画がつくられた。

世界最大、抽象絵画の衝撃

嶋本昭三（1928～）



日本の現代美術を代表する「具体美術協会」の創立会員。98年アメリカ「戦後の世界展」にて世界4大アーティストの一人に選ばれ、明治以降のアメリカ芸術大学の教科書に日本人としてただ一人掲載される。99年紺綬褒章受章、現在宝塚造形芸術大学教授。写真はいたみホールに保管される作品。

日本でインクが勢いよく飛んだせいか敷いていたブルーシートの下まで及び土を掘返すハブニングも起つたが、今やこれほど大胆なパフォーマンスの実現が奇跡だといえる。終了後、ペンツはサインが入れられて持ち主が乗つて帰り、布は90センチ角に約30点切り取られ保存され、数点が翌年のいたみホールでの個展で展示された。

約10年が経ち、残された作品を眺めながら、現場にいた人々だけが味わえた衝撃を羨ましく想像する。



【取材と文：岡本梓】伊丹市立美術館所属 「諷刺とユーモア」をコンセプトとする美術館にふさわしく、伊丹をナナメから見る「理論よりも感性」な現場肌の学芸員。専門は近現代美術。「体育前に『スラムダンク』を読んで自己陶酔し、かりそめの反射神経を獲得してました」



【取材と文：加藤四季】いたみホール所属 声楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「隣ページの桟とは、出身高校が兄弟校。定期戦で戦ってたかもね!?」

共同アトリエ 刺激し合う

今回は伊丹ジュエリーカレッジ卒業生の菊地ルイさん。仕事場は卒業生仲間と借りたマンションの一室です。

「宮崎駿監督の映画に出てくるような職人気質の作業場に憧れていた」と語るように、少しづつ集めた道具がすらりと並んでいます。

手がける作品は、私達が普段身に着けるジュエリーと少し違い作家の想いやメッセージがより込められたように、あらゆる素材をジュエリーにします。性質や動きを活かすため、観察や試作を繰り返しじっくり時間をかけてイメージが浮かんでくるのを待ちます。「素材と対話し続けることが難しい」と言うように、一人の世界に入り込んでしまってことが多い作品制作。仲間とアイデアや悩みを話し合える共同アトリエのおかげで、うまくバリュエリー。

思い出の着物をネックレスに、ペットボトルをブレスレットへ生まれ変わったように、あらゆる素材をジュエリーにします。性質や動きを活かすため、観察や試作を繰り返しじっくり時間をかけてイメージが浮かんでくるのを待ちます。「素材と対話し続けることが難しい」と言うように、一人の世界に入り込んでしまってが多い作品制作。仲間とアイデアや悩みを話し合える共同アトリエのおかげで、うまくバリュエリー。

クラフト作家の仕事場を訪ねて

ジュエリー作家の菊地ルイさん



左上／「もっと使い込んで味を出していきたい」という道具たち



【工芸センターより】菊地さんも出品する「オーストラリアコンテンポラリージュエリー展」は3月13日から(詳細はP11)。「伊丹ジュエリーカレッジ卒業作品展」も同時に開催。カレッジの見学・入学希望などは工芸センター(072-772-5557)まで。作家の説明制度は伊丹市都市企画室(072-784-8068)まで。

菊地ルイ (きくち るい)



京都生まれオーストラリア育ち。2009伊丹国際クラフト展「ジュエリー」グッドマテリアル賞受賞。作品は伊丹郷町クラフトショップで購入可。3月には神戸のギャラリーショップSightでの「The Jewelled Antipodean」に出品。HPはhttp://www.rubikus.net

ランスがどれている面もあるとか。オーストラリアで育ったため、海外の知り合いが多い菊地さん。ふと本棚に目をやると洋書の作品集や図録がぎっしり並んでいます。次々に本を取り出しては作家や作品の紹介をしてくれました。伊丹市には工芸作家などを誘致する制度があることを伝えると作家の交流と教育に繋がる環境、共同作業場を作りたい」と更に自分が輝きます。作業場を現在の大坂から伊丹に移し、海外の作家を招いて流暢な英語でお互いの作品について語り合う姿が浮かんでくるようです。

舞台の裏側

今回の裏側　「伊丹オトランクな一日」酒かおる街の音あそび

10/17(土) 昼時から夜更けまで

中心市街地各所



ライブに限らず「広場で楽器あそび」、「飲食店でのゲリラ演奏」、「デジタルオーディオプレーヤー片手にまちあるき」など変り種を含めた音ある13企画が一同に。飲み歩きイベント「伊丹まちなかバル」、手作り市「蔵富都たうみゅーじあむ」も開催され、賑やかな一日だった。

緻密さと余白のバランス

約4千人が飲み歩いた「伊丹まちなかバル」で賑わう店内に、突然ミュージシャンがやってくる。空いているスペースを歩き回りながら、数曲演奏し去っていく。「伊丹オトランクな一日」の「おじやましますライブ」だ。

「普段づかいの音楽として、時間や出演者を告知しない事、準備や負担を極力なくす事を心がけた」という狙いは、外に並ぶ行列に対し急速軒先で演奏する、といった柔軟さにあらわれた。

だが、裏では事前に何度もお店と話しあい、樂器や音楽の希望、望む雰囲気をすり合わせ、延べ50回以上のライブを組み立てていった。「ゆるさを伝えるには、緻密さと余白のバランスが大切」と運営スタッフは勘所を語る。

実際に出演者とお客様の距離は縮まり、一緒に次の店へ移動したり、お酒をご馳走してもらいう場面は多かった。お店からは「伊丹まちなかバル」とあわせて「またやろう」と評判良い。

出演者の一人、リコーダー奏者・織田優子さんは「日常の中に音楽が自然とある、という環境に居られて本当に幸せな気分になれた」と振り返る。数年後の伊丹が普段から音で溢れていることを願いたい。

【取材・文：椎田康美】事業企画課施設担当 「困ったら僕に聞け」舞台、音響、電気、パソコン…7つの施設の管理を一手に引き受けるメカニックマン。「高校生の頃、演劇に夢中で家になかなか帰りませんでした」

3・13(土)～
3・28(日) 伊丹市芸術家協会展

伊丹市にゆかりのある様々なジャンルの芸術家により結成された「伊丹市芸術家協会」。絵画、彫刻、工芸、書、写真など、造形部門会員による作品展を開催します。バラエティ豊かな作品をぜひお楽しみください。



『平成21年度 伊丹市芸術家協会展』

3/13(土)～3/28(日) 10:00～18:00(入館は17:30まで、最終日は16:30閉場) 無料。072-772-7447

3・28(日) パリで織り成す恋のドタバタ喜劇



いたみホール

大富豪の未亡人ハンナに、かつての恋人ダニ口は、長年の愛を告白するのだろうか…。一方、夫の目を盗み不倫を続けるヴァランシエンヌとカミーユの恋の行方は…。豪華な舞台と甘いメロディーに彩られたラブ・コメディをお楽しみ下さい。

第24回伊丹市民オペラ定期公演 喜劇歌「メリーウィドウ」

3/29(日) 14:00・3,500円(当日500円増)。072-780-2110(伊丹アイフォニックホール)

※イベントにより、未就学児童の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各ホールへお問合せ下さい。※いたみホール、アイホール、ラスタホールは火曜日休館。伊丹アイフォニックホールは水曜日休館。美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衛文庫は月曜日休館。(祝日にあたる時は翌日)

アイテム

2010年1月1日発行(季刊冬号・通巻63号)

発行：(財)伊丹市文化振興財団

編集：アイテム編集委員会

表紙イラスト：ニシワキタダン

デザイン：三澤敏博(緑堂)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3

伊丹市立文化会館「いたみホール」内

Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585

<http://hccweb1.bai.bai.ne.jp/itamihall/zaidan>
Email→itamihall@hcc1.bai.ne.jp

く配布場所へ市内・近郊の文化施設でお取りいだだけ他、こんなところで配布協力いただいている。アリオ1&2、伊丹酒蔵通り、ひがし商店街、タミータウン、宮ノ前商店街、ビバ伊丹、三軒寺前広場周辺のお店、伊丹シティホテル…ほか市内各所



チケットプレゼント

- 「生誕100年記念 ハンス・フィッシャーの世界展」「フレーメンのおんぐくたい」「こねこのびっち」を生んだ絵本作家】1/16(土)～3/7(日)。(美術館)5組10名。1月29日必着。
- 「社会風刺コント団体 ザ・ニュースペーパー」2/11(木・祝)17:30。(いたみホール)2組4名。1月29日必着。

3・13(土)～
3・28(日) オーストラリアからのジュエリー

オーストラリアで活躍する現代ジュエリー作家14名と、彼らが推薦する教え子・元教え子たちによる作品展。伝統的なものとは全く違う「目からウロコ」な作品をお楽しみください。オープニングには出品者も数名来日。3/13(土)作家による講演有(無料)。

『By Example:オーストラリアコンテンポラリージュエリー』
3/13(土)～3/28(日) 10:00～18:00(入館は17:30まで)。
無料。072-772-5557



工芸センター

3・20(土)
21(日) 小津安二郎から着想を得たダンス

KIKIKIKIKIKIの代表・きたまりは、トヨタコレオグラフィーアワード2008にてオーディエンス賞を受賞。今、最も注目の集まるカンパニーの一つです。ダンサー個々の特異な身体のフォルムから沸き上がる独自の世界観は虜になるかも。



撮影:waits

アイホールダンスコレクションvol.61 Take a chance project023
KIKIKIKIKIKI 「生まれてはみたものの」3/20(土)15:00/19:00、3/21(日)15:00。一般1,800円(当日500円増)。60歳以上1,000円。072-782-2000

アイホール

1・16(土)～
3・7(日) 郷土伊丹が生んだ偉大な俳人

柿衛文庫の創始者岡田利兵衛(柿衛)の俳諧資料収集の始まりは、昭和12年の鬼貫短冊との出会いがきっかけでした。本展では、同氏の収集記録とともにその原点となった郷土伊丹の俳人鬼貫の直筆作品を紹介いたします。

『鬼貫・柿衛翁が愛した郷土伊丹の俳人』

1/16(土)～3/7(日) 10:00～18:00(入館は17:30まで)。
一般200円、大高100円、中小50円。072-782-0244



柿衛文庫

2・10(水)～
2・12(金) 世界に強烈な一撃! 戦場のリアル

ベルギーの世界的カンパニー、ローザスの池田扶美代らと振付家アラン・プラテルが出会い、実現したプロジェクト。断片的な言葉と身体、シンプルな舞台装置によって、アフリカの少年兵が経験する戦争の過酷さを痛切に描き出す!

アイホールダンスコレクションvol.60 池田扶美代+アラン・プラテル+ベンヤミン・ヴォルドング「ナイフ・シンガー」 2/10(水)19:00、2/11(木)15:00、2/12(金)19:00。一般3,500円、学生 & ユース2,000円。072-782-2000



photo:Herman Sorgeloos

2・20(土) 回る! 跳ぶ! 湧き上がるセルビア民族の息吹

コロとは、セルビア語で「輪」という意味。踊り手が輪になって踊るフォークダンスです。2拍子を基本に、半円になったり、円になったり。音楽と一体化した細かいステップは圧巻! 華やかな民族衣装にも注目です。どうぞお見逃しなく。

『アイフォニック地球音楽シリーズ147 春を告げる輪舞 セルビアのコロ』
2/20(土)14:00。
一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。072-780-2110



伊丹アイフォニックホール
出演:セルビア国立コロ民族音楽舞踊団

3・7(日) あめんぼ座、待望の伊丹公演

日本語の美しさを大切に、肉声の響きの素晴らしさと朗読の世界をより豊かに活動する「あめんぼ座」。今回は、宮沢賢治の短編小説『よだかの星』、そして谷崎潤一郎の処女作『刺青(しせい)』ほか小品を朗読劇でお届けします。

『あめんぼ座 朗読劇』

3/7(日) 14:00。一般1,200円、高校生以下・60歳以上1,000円(当日各200円増)。072-781-8878



ラスタホール

1・16(土)～
3・7(日) 愛らしい動物たちの絵本原画展

「ブレーメンのおんぐくたい」や「こねこのびっち」などで愛されている絵本作家ハンス・フィッシャーの生誕100年を記念した展覧会。絵本原画や色鉛筆画、版画など貴重な資料約250点を。愛らしい動物たちの物語が楽しめます。

『生誕100年記念 ハンス・フィッシャーの世界展「ブレーメンのおんぐくたい」「こねこのびっち」を生んだ絵本作家』 1/16(土)～3/7(日) 10:00～18:00(入館は17:30まで)。一般700円、大高350円、中小100円。072-772-7447



美術館・工芸センター

1・30(土) 懐かしの名画をスクリーンで

ハンフリー・ボガード、英格リッド・バーグマン主演の映画史上に残る最高傑作! 戦火が近づく1940年のカサブランカを舞台に繰り広げられる、数々の名台詞とマックス・スタイナーの美しい音楽で彩ったラブストリーの金字塔。

『ラスタ映画俱楽部 カサブランカ』
1/30(土) 10:00/14:00/18:00。一般800円、高校生以下・60歳以上600円(当日各200円増)。072-781-8877



ラスタホール

2・11(木・祝) 笑いで時代を斬る男達、伊丹初上陸!

小泉純一郎やオバマ大統領など有名政治家の形態模写で人気沸騰の「ザ・ニュースペーパー」。キビシイ世相も、時のヒトの本音も、ワイドショーを賑わすあの事件も“刺激的な笑い”に変えて、高度な風刺コントを開催する。

『社会風刺コント団体 ザ・ニュースペーパー』
2/11(木・祝) 17:30。3,500円。
072-778-8788



いたみホール

3・7(日) 歌謡曲を客席で口ずさめる演奏会

国民栄誉賞受賞、作曲家吉田正珠玉の名作「いつでも夢を」や石原裕次郎や美空ひばりメドレーに、「千の風になって」や青春の映画音楽など、なつかしくて、心にしみる歌謡曲やムード音楽をオーケストラが迫力の生演奏。ぜひお見逃しなく。

『吉田正記念オーケストラコンサート』
3/7(日) 14:00。一般3,000円(当日500円増)。
072-778-8788



いたみホール